

授 業 科 目 名	英語科教育基礎論 a (Basics of English Language Education a)		
科 目 番 号	9433004	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	水曜・2 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	齊田 智里 (非常勤講師)		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	学習指導の基盤となる英語の実態についての知識を深めるとともに、英語の指導に関する基礎的概念を理解する。		
授 業 の 概 要	指導の観点から英語自体についての知識を再確認し、指導上の要点や課題を概観する。個人やグループでの作業、ディスカッションを行う。		
授 業 計 画	第1回:オリエンテーション 第2回:英語の文法 第3回:英語の語彙 第4回:英語の音声 第5回:英語の談話 第6回:英語の機能 第7回:英語の文字・表記 第8回:英語の構造に関する学習指導の課題 第9回:英語の意味に関する学習指導の課題 第10回:まとめ 定期試験		
成 績 評 価 方 法	定期試験(50%)、小テスト(25%)、レポート等(25%)を総合して評価する。		
テ キ ス ト	開講後に指示する。		
参 考 文 献	文科省 (2017) 『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』 文科省 (2017) 『中学校学習指導要領 外国語編』 文科省 (2018) 『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む 事 項			
備 考			

授 業 科 目 名	英語科教育基礎論 b (Basics of English Language Education b)		
科 目 番 号	9433014	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜 時 限	水曜・2 時限
対象学群・学類			
担当教員(連絡先)	久保野 雅史(非常勤講師)		
オフィスアワー			
授業の到達目標	学習指導の基盤となる英語の実態についての知識をさらに深めるとともに、英語の指導に関する基礎的概念を理解する。		
授業の概要	「英語科教育基礎論 a」の学修を基盤として、英語の4領域の指導についての要点や課題を概観する。個人やグループでの作業、ディスカッションを行う。		
授 業 計 画	第1回:オリエンテーション 第2回:文法・機能の指導 第3回:語彙・表現の指導 第4回:音声・文字の指導 第5回:聞くことの指導と課題 第6回:読むことの指導と課題 第7回:話すこと指導と課題 第8回:書くことの指導と課題 第9回:領域統合型の言語活動の指導 第10回:まとめ 定期試験		
成績評価方法	定期試験(30%)、小テスト(40%)、レポート等(30%)を総合して評価する。		
テ キ ス ト	開講後に指示する。		
参 考 文 献	文科省 (2017) 『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』 文科省 (2017) 『中学校学習指導要領 外国語編』 文科省 (2018) 『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』		
授業外における学習方法			
受講学生に望むこと			
備 考			

授 業 科 目 名	英語科教育概説 a (Introduction of English Language Education a)		
科 目 番 号	9433044	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	水曜・1 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	斉田 智里(非常勤講師)		
オ フ ィ ス ア ウ ー			
授 業 の 到 達 目 標	学習者と学習指導に関する理解を深め、適切な授業運営と学習評価を行うことができる能力を身につける。		
授 業 の 概 要	「英語科教育基礎論 a,b」において修得した知識を活用し、おもに授業と学習評価の課題について考察する。グループ・プレゼンテーション、ディスカッションを行い、相互に振り返り改善を重ねていくことで、基礎的实践力を養成していく。		
授 業 計 画	第1回:オリエンテーション 第2回:学習者の信念・動機 第3回:学習者のストラテジー・認知 第4回:学習者の特性や習熟度に応じた指導 第5回:授業観察 第6回:授業分析 第7回:学習評価の在り方・進め方の理解 第8回:英語能力の測定と評価の理解 第9回:パフォーマンス評価の理解 第10回:まとめ 定期試験		
成 績 評 価 方 法	定期試験(50%), プレゼンテーション・ディスカッションの参加状況等(50%)を総合して評価する。		
テ キ ス ト	開講後に指示する。		
参 考 文 献	文科省 (2017) 『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』 文科省 (2017) 『中学校学習指導要領 外国語編』 文科省 (2018) 『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と			
備 考			

授 業 科 目 名	英語科教育概説 b (Introduction of English Language Education b)		
科 目 番 号	9433054	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜 時 限	水曜・1時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	小野 雄一		
オ フ ィ ス ア ワ ー	火曜日 16:45～(適宜対応します)		
授 業 の 到 達 目 標	学習者と学習指導に関する理解を深め、効果的な授業実践を行うことができる能力を身につける。		
授 業 の 概 要	「英語科教育概説 a」の学修を基盤として、主に中学校における授業と評価の課題について考察する。模擬授業、ディスカッションを行い、相互に振り返り改善を重ねていくことで、実践の活用力を養成していく。		
授 業 計 画	第1回:オリエンテーション 第2回: 授業構成・指導計画の理解 第3回: 授業実践事例研究1: 新出事項の導入 第4回: 授業実践事例研究2: コミュニケーション活動 第5回: 模擬授業: インプット・オーラルイントロダクション 第6回: 模擬授業: インタラクション・フィードバック 第7回: 模擬授業: プラクティス・プロダクション 第8回: 模擬授業: タスク 第9回: 小・中・高校の連携指導の在り方 第10回: まとめ 定期試験		
成 績 評 価 方 法	定期試験(50%)、模擬授業、プレゼンテーション・ディスカッションの状況等(50%)を総合して評価する。		
テ キ ス ト	開講後に指示する。		
参 考 文 献	文科省 (2017) 『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』 文科省 (2017) 『中学校学習指導要領 外国語編』 文科省 (2018) 『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	授業の中で様々なメディア、ヒント集など提示していきます。		
受 講 学 生 に 望 む こ と	何を教えるのか、どんな教材を使うのか、どのように教えるのか、授業デザイン、実践方法をひたすら考えていただきます。		
備 考			

授 業 科 目 名	中等英語科教育法 Ia (Methodology of English Language Education I a)		
科 目 番 号	9434024	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	水曜・1時限
対 象 学 群 ・ 学 類	人文・比文・国総学類		
担 当 教 員 (連 絡 先)	久保田 章 (kubota.akira.gn@u.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー	予約の上、随時		
授 業 の 到 達 目 標	中学校・高等学校の英語担当教員に必要とされる基本的な知識や資質を得ることに加え、教育現場での諸問題を自ら発見し、的確に対処できるような問題解決力を身につける。		
授 業 の 概 要	主に中学校・高等学校における英語科教育の理論的側面を概観するとともに、中・高における英語指導の基本的な知識と技術を体得する。授業においては、個人やグループでの作業、ディスカッションなどへの積極的な参加が求められる。		
授 業 計 画	第1回:オリエンテーション 第2回:英語科教育の目的と意義 第3回:英語の国際化と関連諸問題 第4回:言語習得観の変遷 第5回:第二言語習得研究の成果と応用 第6回:学習者論 第7回:学習指導要領 第8回:リスニングの指導と評価 第9回:文法指導の枠組み 第10回:教科書と教材研究の視点 定期試験		
成 績 評 価 方 法	定期試験またはレポート(40%)、小テスト(40%)、課題を含む授業への参加度(20%)を総合して評価する。		
テ キ ス ト	望月昭彦・久保田 章・磐崎弘貞・卯城祐司 (2018). 『新学習指導要領に基づく英語科教育法 (第3版)』大修館書店.		
参 考 文 献	文科省 (2017) 『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』 文科省 (2017) 『中学校学習指導要領解説 外国語編』 文科省 (2018) 『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』 その他は授業中に指示する。		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	COBUILD English Grammar や Swan の Practical English Usage など で 文 法 や 語 法 の 復 習 を す る 。		
受 講 学 生 に 望 む こ と	やはり英語力の向上が肝要。		
備 考			

授 業 科 目 名	中等英語科教育法 Ib (Methodology of English Language Education I b)		
科 目 番 号	9434034	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜 時 限	水曜・1 時限
対象学群・学類			
担当教員(連絡先)	磐崎 弘貞 iwasaki.hirosada.gm@u.tsukuba.ac.jp		
オフィスアワー	木4・5 その他は電子メールで相談		
授業の到達目標	中学校・高等学校の英語担当教員に必要とされる基本的な知識や資質を得ることに加え、教育現場での諸問題を自ら発見し、的確に対処できるような問題解決力を身につける。		
授業の概要	「中等英語科教育法 Ia」の学修を基盤として、さらに英語科教育の理論的側面を概観するとともに、中・高における英語指導の基本的な知識と技術を体得する。授業においては、個人やグループでの作業、ディスカッションなどへの積極的な参加が求められる。		
授 業 計 画	第1回:第 2 言語習得研究の成果と応用 第2回:教科書と教材研究 第3回:文法の学習と指導 第4回:リスニングの学習と指導 第5回:スピーキングの学習と指導 第6回:ライティングの学習と指導 第7回:語彙の学習と指導 第8回:辞書検索指導 第9回:ICT と情報機器等の活用 第10回:まとめ 定期試験		
成績評価方法	定期試験(80%)、小テスト(20%)を総合して評価する。		
テ キ ス ト	望月昭彦・久保田 章・磐崎弘貞・卯城祐司 (2018).『新学習指導要領に基づく英語科教育法(第3版)』大修館書店. その他は授業中に指示する。		
参 考 文 献	文科省 (2017) 『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』 文科省 (2017) 『中学校学習指導要領 外国語編』 文科省 (2018) 『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』		
授業外における学習方法	・教科書の指定章および関連資料を事前に読むこと。 ・授業後にはハンドアウトの内容を確認すること。		
受講学生に望むこと	・グループワークでは、英語による活動を行うので積極的な参加を期待します。		
備 考	・教育実習を想定して、英語辞書(紙または電子辞書;スマホ型は不可)を毎回持参すること。		

授 業 科 目 名	中等英語科教育法Ⅱa (Methodology of English Language Education II a)		
科 目 番 号	9434064	授 業 形 態	講義
単 位 数	1単位	標 準 履 修 年 次	3年次
実 施 学 期	春AB	曜 時 限	水曜・2時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	久保野 雅史(非常勤講師)		
オ フ ィ ス ア ウ ー			
授 業 の 到 達 目 標	中学校・高等学校の英語担当教員に必要とされる応用的な知識や資質を得ることに加え、教育現場での諸問題を自ら発見し、的確に対処できるような問題解決力を身につける。		
授 業 の 概 要	「中等英語科教育法Ⅰa, b」の学修を発展させ、主に英語科教育の実践的側面を概観するとともに、模擬授業を中心に、高校における英語指導に役立つ実践的な知識と技術を体得する。		
授 業 計 画	第1回:オリエンテーション 第2回:測定と評価 第3回:英語教授法 第4回:授業研究:中学校 第5回:中学校学習指導案の作成 第6回:中学校の模擬授業:第1グループ 第7回:中学校の模擬授業:第2グループ 第8回:中学校の模擬授業:第3グループ 第9回:中学校の模擬授業:第4グループ 第10回:中学校模擬授業の総括と評価 定期試験		
成 績 評 価 方 法	定期試験(30%), 模擬授業(50%), レポート等(20%)を総合して評価する。		
テ キ ス ト	望月昭彦・久保田 章・磐崎弘貞・卯城祐司(2017).『改訂版 新学習指導要領に基づく英語科教育法』大修館書店. その他は授業中に指示する。		
参 考 文 献	文科省(2017)『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』 文科省(2017)『中学校学習指導要領 外国語編』 文科省(2018)『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む こ と			
備 考			

授 業 科 目 名	中等英語科教育法Ⅱb (Methodology of English Language Education II b)		
科 目 番 号	9434074	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜 時 限	水曜・2 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	卯城 祐司		
オ フ ィ ス ア ワ ー	火:11:30-12:10 水:11:30-12:10 (要メール予約) 人文社会学系棟 B606 ushiro.yuji.gn(@)u.tsukuba.ac.jp http://www.modernlc.tsukuba.ac.jp/~ushiro/		
授 業 の 到 達 目 標	中学校・高等学校の英語担当教員に必要とされる応用的な知識や資質を得ることに加え、教育現場での諸問題を自ら発見し、的確に対処できるような問題解決力を身につける。		
授 業 の 概 要	「中等英語科教育法Ⅱa」の学修を基盤に、英語科教育の実践的側面を概観するとともに、模擬授業を中心に、主に高校における英語指導に役立つ実践的な知識と技術を体得する。		
授 業 計 画	第1回:オリエンテーション 第2回:リーディングの学習と指導 第3回:チームティーチング 第4回:授業研究:高等学校 第5回:高校学習指導案の作成 第6回:高校の模擬授業:第1グループ 第7回:高校の模擬授業:第2グループ 第8回:高校の模擬授業:第3グループ 第9回:高校の模擬授業:第4グループ 第10回:高校模擬授業の総括と評価 定期試験		
成 績 評 価 方 法	1. 評価方法:模擬授業、定期試験、レポート課題、授業における発表・応答・討議への積極的参加等により総合的に判断する。 2. 評価の配割合(模擬授業 50%、定期試験 30%、レポート課題および授業における発表・応答・討議への積極的参加 20%)を総合して評価する。		
テ キ ス ト	望月昭彦・久保田章・磐崎弘貞・卯城祐司。(2018).『新学習指導要領にもとづく英語科教育法(第3版)』.大修館書店..その他は授業中に指示する。		
参 考 文 献	1. 卯城祐司編著.(2014).『英語で教える英文法:場面で導入、活動で理解』.研究社. 2. 卯城祐司編著.(2012).『英語リーディングテストの考え方と作り方』.研究社. 3. 卯城祐司編著.(2011).『英語で英語を読む授業』.研究社. 4. 卯城祐司編著.(2009).『英語リーディングの科学:「読めたつもり」の謎を解く』.研究社. 5. 文科省(2017)『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』 6. 文科省(2017)『中学校学習指導要領 外国語編』 7. 文科省(2018)『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	NHK ラジオ第2「実践ビジネス英語(杉田敏)」 「ラジオ英会話(遠山顕)」を聞き、英語力を磨くことが望ましい。		
受 講 学 生 に 望 む こ と	英語を教える楽しさと怖さを学んでください。		
備 考			